


新大資料からみる

江戸のなりわい



江戸時代、経済が安定してくると、人々の暮らしに密着したさまざまななりわいが生まれました。当時、旅のガイドブックとして各地の名所図会が多数出版されました。その中には、各地の名所や特産品、人々のなりわいがいきいきと描かれています。今回の展示では、都市部周辺の庶民に関わりの深い「なりわい」に焦点をあててご紹介します。開いてあるページから江戸の人々の暮らしを想像してみてくださいはいかがでしょうか。

展示期間：2019.11～



◆展示資料

- ・『江戸名所図会』（佐野文庫52-6）
- ・『都名所図会』（佐野文庫52-26）
- ・『摂津名所図会』（佐野文庫52-65）
- ・『東海道名所図会』（佐野文庫52-37）
- ・『江戸職人歌合』（佐野文庫36-323）

